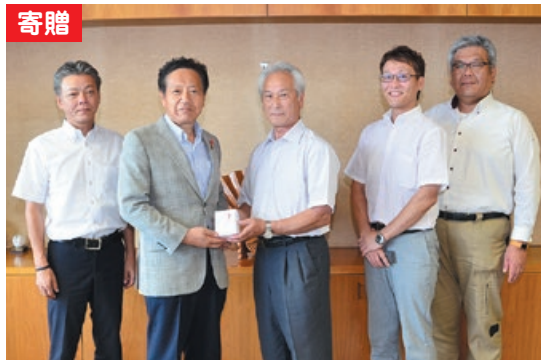


みんなのイマをパジャ!!

「街フォトスクラップ」



寄贈 **未来を担う子どもたちのために**

7月25日、事務用品や教材の販売を行う(株)アクシス三味堂(寿7丁目)から、市に図書カード(50万円分)が寄贈されました。これは同社の川畑文雄会長(新栄町出身)が市内で会社を立ち上げてから25年の節目を迎え、これを機会に「地元に戻りたい」、「夢のある子どもたちにたくさんの本を読んでもらいたい」との強い思いから贈られたものです。



来訪 **全国大会での活躍を誓う**

7月10日、田崎ソフトボールスポーツ少年団の選手21人が、監督や関係者とともに市役所を訪問しました。これは、全日本小学生男子ソフトボール大会の県予選で準優勝し、三重県で開催される全国大会への出場が決定したことから行われたもの。キャプテンの大山蓮斗おのやま れんとさんは、「心をひとつに勝利をつかめ」と力強く話していました。



イベント **自転車を楽しんで健康づくり**

7月30日、霧島ヶ丘公園で「サイクリングヘルスアップ推進事業」が開催されました。これは「自転車を活用した健康づくり」を官民連携で推進するために、今年初めて実施するもの。この日は親子自転車教室や、(株)タニタヘルスリンクによる食と健康に関するセミナーがあり、約30組の参加者は、自転車を楽しみながら健康づくりを学んでいました。



イベント **串良のまちが夏色に染まる**



7月22日、串良町で「くしら夏まつり2017」が開催されました。天候不良により一部のプログラムが変更されましたが、8団体336人が参加した街頭全体踊りでは会場が熱気につつまれるとともに、毎年恒例のフラダンスで来場者は南国の雰囲気を楽しんでいました。また、「車が当たる大抽選会」や花火などで、串良のまちが夏色に染まる一夜となりました。



来訪 **10回目の挑戦で念願の全国大会**

7月28日、大隅肝属地区消防組合野球部の部長・監督・部員7人が市役所を訪問しました。これは、全国官公庁野球大会の県予選で優勝し、8月に東京都で行われる全国大会への初出場が決定したことから行われたもので、この日は優勝旗を携えての訪問。選手たちは、10回目の挑戦で念願の全国大会出場を勝ち取った喜びなどを語りました。



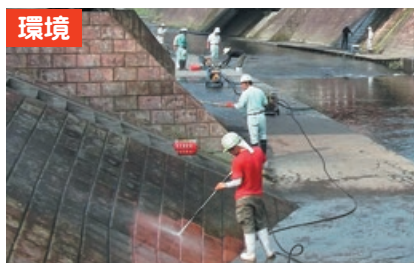
来訪 **永年の活動で厚生労働大臣表彰**

7月20日、東部地区民生委員の宮崎恵子みやざき けいこさんと野平稔泰のひらとしやすさんが市役所を訪問しました。これは、宮崎さんは36年、野平さんは30年にわたる、民生委員・児童委員としての活動の功績が認められ、7月に東京都で開催された「民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会」で、厚生労働大臣表彰を受賞したことから行われたものです。



イベント **おのおすみの歴史を学ぶ**

7月25日、串良ふれあいセンターで「第1回おのおすみ学校」が開催されました。これは、大隅地域の歴史や文化などに関する知識を深めるために「おのおすみ観光未来会議」が主催したもので、「まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会」の東川隆太郎さんが、大隅と西郷隆盛の関わりについて講話を行い、約70人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



環境 **かのやイベント広場で清掃作業**

7月28日、かのやイベント広場で、鹿屋土木協同組合による河川護岸のボランティア清掃が行われました。この日は10社30人の組合員が、高圧洗浄機やブラシなどを使って、水辺のステージなどを懸命に清掃しました。



環境 **肝属川クリーン作戦**

7月16日、下祓川町の樋渡橋から吾平町下名の馬込橋までの肝属川沿岸で、「第34回肝属川クリーン作戦」が行われました。この日は周辺の町内会や各種団体などが参加し、早朝からの清掃作業で約900kgのごみなどを回収しました。



地域 **マルクトと六月燈がコラボレーション**

7月23日、城山公園で「食と暮らしのマルクト@おのおすみ」が開催されました。毎月第4日曜日のマルクトは9月まで夜に開催。今回は北田六月燈も行われ、来場者は、涼しい夜風と淡い光に包まれながら出店など楽しみました。



イベント **夏祭り深める**

7月27日、星塚敬愛園で「第39回夏祭り納涼大会」が開催されました。これは、同園の入所者と地域住民との交流を深めるために開催される、夏の恒例行事。祭りでは、同園職員による演芸披露や、歌手の鏡五郎さん・水田竜子みづた りゅうこさんによる歌謡ショー、花火の打ち上げなど行われ、入所者と来場者は夏祭りを楽しみながら交流を深めていました。



イベント **活きのいいニジマスに大はしゃぎ**

7月23日、吾平自然公園近くの始良川で「神野ニジマスつかみ獲り大会」が開催されました。これは、子どもたちの夏休みの思い出づくりや地域交流などを目的に、神野町内会が実施したもので、この日は始良川に生けすを設置して約1,000匹のニジマスニジマスを放流。参加した約200人の子どもたちは、涼しげな水しぶきの中で、大いにはしゃいでいました。